

平成22年度事業計画及び予算が確定

平成21年度第2回通常総会

平成22年3月6日(土)、サンセール盛岡において平成21年度第2回通常総会が開催された。社団法人である本会は主務官庁への新年度事業等の届出を前年度内に行わなければならないため、事業計画と予算は例年、この時期に開催される総会で審議されている。

総会は定款に定められた

正会員35名中、本人出席18名、委任状4名、書面表決書提出13名によって審議が行われた。昨年に続いて第2回目となる「岩手県PTAリーダー研修会」開催の他、第39回岩手県PTA研究大会久慈



大会の開催、第58回日本PTA全国研究大会および大会、第42回東北ブロック研究大会八戸大会への派遣、第15回家庭教育セミナー久慈地区セミナー、両磐地区セミナー開催が予定されている。また平成25年

を移行期限とする法人制度改革に伴い、本会の組織運営全体の「在り方検討委員会」の開催などの諸事業並びに予算が承認された。

平成22年度日本PTA全国協議会

「全国小・中学校PTA広報紙コンクール」一次審査会

今年度は、県内46小学校PTA、中学校21PTAの計67PTAからの応募があった。審査の結果、次の作品が一次審査を通過し、全国応募作品に選ばれた。

◆中学校の部

下小路中(みついし) 附属中(Fuchu) 興田中(蓬萊) 綾織中(猿ヶ石川) ◎優れていたこと

◆小学校の部

青山小(あおやま) 桜台小(さくらだい) 江釣子小(動輪) 山目小(蘭梅) 遠野小(だいにち) 普代小(てぼかい)

「携り活動の様子など、保護者や地域の顔が見える記事がみられた。」

3 テーマを設定し、テーマに沿った連載記事掲載など、深まりのある広報紙もみられた。またイラストや手書きにより読み手に迫ってくる作品は、手作りの雰囲気伝わってきた。

4 「携帯電話」や「家庭学習」に関するアンケートを実施し、結果をまとめ論評しているなど、家庭教育のあり方に関する記事を積極的に掲載している広報紙も、ひとつの姿と思えた。

◎今後に期待すること

1 保護者が知りたい情報である入学児童・生徒や、教職員紹介を年度最

初



初の広報紙に掲載しているが、発行が6月ごろの広報紙があった。もう少し早い発行手立てを講じれば良いのではないか。

2 小・中PTA会長が相手の広報紙に寄稿するなど、連携した広報紙を作成しても良いのではないか。

3 行事報告や教職員の声を多く掲載するよりPTA会員の意思形成につながる(組織力を高める)メッセージの掲載があっても良いのではないか。

(審査委員長 岩手県教育委員会生涯学習文化課 社会教育主事 久慈 孝)

【審査委員(敬称略)】 久慈 孝、柴田禮司、平澤勝郎、佐賀文行、田村善博、小森資司

平成22年度予算のあらまし	
I 事業活動収支の部	単位:円
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	1,000,000
特定資産運用収入	10,000
世帯割会費収入(90円)	8,892,000
児童生徒数割会費収入(800円)	89,600,000
補助金等収入	150,000
寄付金収入	0
雑収入	48,000
事業活動収入計	99,700,000
2. 事業活動支出	
事業費支出	89,207,000
管理費支出	9,553,000
他会計への繰入金支出	0
事業活動支出計	98,760,000
事業活動収支差額	940,000
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特定資産取崩収入	700,000
投資活動収入計	700,000
2. 投資活動支出	
基本財産取得支出	0
特定資産取得支出	2,700,000
固定資産取得支出	200,000
投資活動支出計	2,900,000
投資活動収支差額	△2,200,000
III 財務活動収支の部	
財務活動収入計	0
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	
当期収支差額	△2,300,000
前期繰越収支差額	45,000,000
次期繰越収支差額	42,700,000

(注) 収支予算書は公益法人会計における3区分の様式により作成
※詳細は単位PTA事務局に送付してある平成22年度第1回通常総会議案書をご参照ください。